

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第68期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 雅一
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第2四半期 連結累計期間	第68期 第2四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自 平成24年 4月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 9月30日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日
売上高(千円)	4,177,649	4,150,705	8,108,882
経常利益(千円)	600,748	493,087	1,063,880
四半期(当期)純利益(千円)	356,550	428,469	647,722
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	330,900	498,383	724,950
純資産額(千円)	11,436,038	12,138,477	11,695,185
総資産額(千円)	15,498,095	15,839,255	15,563,172
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	35.09	43.52	64.74
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	72.2	74.6	73.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	151,745	454,371	548,576
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	72,126	1,365,307	317,495
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	104,701	105,954	291,010
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,907,925	3,586,802	1,873,078

回次	第67期 第2四半期 連結会計期間	第68期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年 7月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 7月1日 至 平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	19.27	19.85

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策などにより、円安や株高が継続し、一部では企業業績の向上や消費動向の改善など、景気回復の兆しが見られました。しかし、不安定な海外の経済情勢などの影響も受け、本格的な安定成長を実感するまでには至っておらず、引き続き不透明な状況のまま推移しました。

このような環境のもと、当社グループは環境対応型塗料や高機能性塗料の充実をはかり、自動車補修用塗料の販路拡大に向けた積極的な営業活動を展開するとともに、さらなる生産性の効率化により業績の向上に努めました。

しかしながら、厳しい市場環境により、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、41億51百万円（前年同四半期比0.6%減少）となりました。また、利益面につきましては、営業利益は4億18百万円（前年同四半期比21.9%減少）、経常利益は4億93百万円（前年同四半期比17.9%減少）となり、四半期純利益は4億28百万円（前年同四半期比20.2%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

塗料事業

売上高は41億1百万円（前年同四半期比0.7%減少）、営業利益は4億円（前年同四半期比23.2%減少）であります。

その他

売上高は50百万円（前年同四半期比1.0%増加）、営業利益は18百万円（前年同四半期比21.1%増加）であります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、資産は2億76百万円増加、負債は1億67百万円の減少、純資産は4億43百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、長期預金7億70百万円、現金及び預金2億14百万円、建設仮勘定1億2百万円、減少の主なものは有価証券4億10百万円、投資有価証券1億50百万円であります。

負債の減少の主なものは支払手形及び買掛金71百万円であります。

また、純資産の増加の主な要因は、利益剰余金3億76百万円となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17億14百万円増加し、35億87百万円(前年同四半期末19億8百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、4億54百万円（前年同四半期1億52百万円）となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益6億6百万円、たな卸資産の減少1億12百万円、減少した資金では負ののれん発生益1億12百万円、仕入債務の減少92百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は、13億65百万円（前年同四半期72百万円減少）となりました。

その主な要因は、増加した資金では定期預金の払戻16億円、有価証券の売却及び償還12億10百万円、減少した資金では定期預金の預入8億70百万円、有価証券の取得8億円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、1億6百万円（前年同四半期1億5百万円）となりました。

その主な要因は、配当金の支払額52百万円、長期借入金の返済26百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、68百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】
 該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】
 該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
北村初美	大阪市福島区	2,216	18.46
北村健	同上	2,211	18.42
イサム塗料栄勇会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	1,120	9.33
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービ ス信託銀行株式会社)	東京都千代田区有楽町1-13-1 (東京都中央区晴海1-8-12)	767	6.39
イサム塗料従業員持株会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	204	1.69
長瀬産業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町5-1	180	1.50
石原産業株式会社	大阪市西区江戸堀1-3-15	120	1.00
株式会社ダイセル	大阪市北区梅田3-4-5	108	0.90
日立化成株式会社	東京都千代田区丸の内1-9-2	73	0.60
D I C 株式会社	東京都板橋区坂下3-35-58	69	0.57
計	-	7,068	58.90

(注) 1. イサム塗料栄勇会は取引先を対象とした持株会であります。

2. 上記のほか、当社所有の自己株式が2,154千株(所有株式数の割合:17.95%)あります。

(7)【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,154,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,734,000	9,734	-
単元未満株式	普通株式 112,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,734	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が386株含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号	2,154,000	-	2,154,000	17.95
計	-	2,154,000	-	2,154,000	17.95

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,283,078	4,496,802
受取手形及び売掛金	2,587,395	2,569,839
有価証券	1,810,702	1,400,702
商品及び製品	874,710	835,097
仕掛品	108,220	90,874
原材料及び貯蔵品	194,138	182,903
繰延税金資産	91,294	87,374
その他	101,547	50,724
貸倒引当金	18,874	18,123
流動資産合計	10,032,210	9,696,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,410,410	2,406,759
減価償却累計額	1,267,184	1,292,830
建物及び構築物(純額)	1,143,226	1,113,929
機械及び装置	359,090	354,060
減価償却累計額	301,847	305,259
機械及び装置(純額)	57,243	48,801
工具、器具及び備品	349,683	353,949
減価償却累計額	323,933	331,192
工具、器具及び備品(純額)	25,750	22,757
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	13,462	5,962
減価償却累計額	12,837	5,962
リース資産(純額)	625	-
建設仮勘定	-	101,919
有形固定資産合計	2,571,311	2,631,873
無形固定資産		
ソフトウェア	82,670	69,032
施設利用権	5,869	5,409
電話加入権	6,310	6,555
リース資産	101,783	78,671
無形固定資産合計	196,632	159,667
投資その他の資産		
投資有価証券	1,612,126	1,462,347
長期預金	200,000	970,000
保険積立金	754,961	757,349
繰延税金資産	150,530	121,364
その他	48,791	43,852
貸倒引当金	3,389	3,389
投資その他の資産合計	2,763,019	3,351,523
固定資産合計	5,530,962	6,143,063
資産合計	15,563,172	15,839,255

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,696,120	1,624,890
1年内返済予定の長期借入金	52,000	52,000
リース債務	49,260	46,083
未払金	209,259	196,998
未払法人税等	182,415	167,713
未払消費税等	22,233	24,940
前受金	4,921	5,317
預り金	67,291	53,428
賞与引当金	108,880	107,960
その他	40,850	41,522
流動負債合計	2,433,229	2,320,851
固定負債		
長期借入金	397,000	371,000
長期預り保証金	251,190	250,975
リース債務	58,409	36,628
繰延税金負債	-	10,871
退職給付引当金	499,288	486,629
役員退職慰労引当金	106,545	107,953
修繕引当金	37,500	41,250
負ののれん	63,647	57,861
金利スワップ	21,179	16,760
固定負債合計	1,434,758	1,379,927
負債合計	3,867,987	3,700,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	9,645,768	10,022,005
自己株式	848,201	848,601
株主資本合計	11,297,892	11,673,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,197	159,522
繰延ヘッジ損益	13,328	10,547
その他の包括利益累計額合計	82,869	148,975
少数株主持分	314,424	315,773
純資産合計	11,695,185	12,138,477
負債純資産合計	15,563,172	15,839,255

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,177,649	4,150,705
売上原価	2,648,832	2,713,273
売上総利益	1,528,817	1,437,432
販売費及び一般管理費	993,145	1,019,319
営業利益	535,672	418,113
営業外収益		
受取利息	2,918	2,630
有価証券利息	3,538	10,498
受取配当金	4,130	4,805
受取賃貸料	28,306	26,730
塗装情報サービス会費	10,537	13,070
生命保険満期差益	-	13,822
負ののれん償却額	5,786	5,786
貸倒引当金戻入額	5,165	1,450
その他	14,120	6,211
営業外収益合計	74,500	85,002
営業外費用		
支払利息	8,240	7,543
支払補償費	-	1,039
その他	1,184	1,446
営業外費用合計	9,424	10,028
経常利益	600,748	493,087
特別利益		
固定資産売却益	-	1,746
負ののれん発生益	-	111,774
退職給付引当金戻入額	-	4,475
特別利益合計	-	117,995
特別損失		
会員権評価損	-	2,300
固定資産除却損	961	2,486
特別損失合計	961	4,786
税金等調整前四半期純利益	599,787	606,296
法人税、住民税及び事業税	237,623	167,038
法人税等調整額	2,312	6,981
法人税等合計	239,935	174,019
少数株主損益調整前四半期純利益	359,852	432,277
少数株主利益	3,302	3,808
四半期純利益	356,550	428,469

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	359,852	432,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,235	63,325
繰延ヘッジ損益	1,283	2,781
その他の包括利益合計	28,952	66,106
四半期包括利益	330,900	498,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	326,980	493,156
少数株主に係る四半期包括利益	3,920	5,227

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	599,787	606,296
減価償却費	89,345	82,209
退職給付引当金の増減額(は減少)	8,213	27,469
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	11,173	10,804
賞与引当金の増減額(は減少)	3	1,569
修繕引当金の増減額(は減少)	5,000	3,750
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,165	1,451
負ののれん償却額	5,786	5,786
負ののれん発生益	-	111,774
受取利息及び受取配当金	10,586	17,933
支払利息	8,240	7,543
固定資産売却損益(は益)	-	1,746
固定資産除却損	961	2,347
会員権評価損	-	2,300
売上債権の増減額(は増加)	229,749	81,517
たな卸資産の増減額(は増加)	5,723	111,515
仕入債務の増減額(は減少)	81,790	92,130
未払金の増減額(は減少)	54,972	15,613
未払消費税等の増減額(は減少)	16,822	1,848
その他	61,226	38,041
小計	443,147	651,091
利息及び配当金の受取額	13,692	23,932
利息の支払額	8,291	7,587
法人税等の支払額	296,803	213,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	151,745	454,371
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	900,000	870,000
定期預金の払戻による収入	1,680,000	1,600,000
有価証券の取得による支出	860,000	800,000
有価証券の売却及び償還による収入	50,000	1,210,000
有形固定資産の取得による支出	29,814	106,086
有形固定資産の売却による収入	-	1,920
無形固定資産の取得による支出	5,274	-
投資有価証券の取得による支出	604	50,250
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	300,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	29,362
保険積立金の積立による支出	37,741	36,671
保険積立金の払戻による収入	31,079	86,161
貸付金の回収による収入	60	56
その他	168	815
投資活動によるキャッシュ・フロー	72,126	1,365,307

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	26,000	26,000
自己株式の純増減額(は増加)	811	399
リース債務の返済による支出	25,162	24,958
配当金の支払額	50,269	52,138
少数株主への配当金の支払額	2,459	2,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	104,701	105,954
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	25,082	1,713,724
現金及び現金同等物の期首残高	1,933,007	1,873,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,907,925	3,586,802

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました進勇商事株式会社は、重要性が増したため、新たに連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
運送費	95,036千円	95,535千円
宣伝費	63,528千円	58,589千円
役員報酬	47,880千円	55,860千円
従業員給料	304,968千円	307,749千円
賞与及び賞与引当金繰入額	83,304千円	88,567千円
福利厚生費	78,631千円	84,350千円
役員退職慰労引当金繰入額	11,173千円	10,324千円
退職給付費用	19,666千円	18,036千円
減価償却費	43,571千円	41,808千円
支払手数料	85,704千円	92,130千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	3,917,925千円	4,496,802千円
預入期間が3か月を超える定期預金	2,010,000千円	910,000千円
現金及び現金同等物	1,907,925千円	3,586,802千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	51,226	5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月12日 取締役会	普通株式	51,215	5	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	49,233	5	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月11日 取締役会	普通株式	49,228	5	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	4,128,006	49,643	4,177,649	-	4,177,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,128,006	49,643	4,177,649	-	4,177,649
セグメント利益	520,807	14,865	535,672	-	535,672

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており
 ます。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	4,100,584	50,121	4,150,705	-	4,150,705
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,100,584	50,121	4,150,705	-	4,150,705
セグメント利益	400,116	17,997	418,113	-	418,113

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており
 ます。

(金融商品関係)
 該当事項はありません

(有価証券関係)
 その他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

その他有価証券
 前連結会計年度(平成25年3月31日)

	取得原価(千円)	連結貸借対照表計上額 (千円)	差額(千円)
(1) 株式	247,470	399,370	151,900
(2) 債券	20,000	17,104	2,896
(3) その他	1,760,701	1,760,701	-
合計	2,028,171	2,177,175	149,004

(注) 非上場株式(連結貸借対照表計上額 5,010千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当第2四半期連結会計期間(平成25年9月30日)

	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	差額(千円)
(1) 株式	298,805	552,296	253,491
(2) 債券	20,000	14,176	5,824
(3) その他	1,400,702	1,400,702	-
合計	1,719,507	1,967,174	247,667

(注) 非上場株式(四半期連結貸借対照表計上額 5,010千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	35.09円	43.52円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	356,550	428,469
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	356,550	428,469
普通株式の期中平均株式数(株)	10,161,816	9,846,114

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)
 該当事項はありません。

2【その他】

第68期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）中間配当については、平成25年11月11日開催の取締役会において、平成25年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当による配当金の総額.....49,228千円
1株当たりの金額.....5円
支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月10日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月5日

イサム塗料株式会社

取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 田中 伸郎 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 加賀谷 剛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。